トリガー・エフェクト（1996）

THE TRIGGER EFFECT

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
時間 95分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「ジュラシック・パーク」や「ミッション：インポッシブル」の脚本家として知られるＤ・コープの商業メジャー監督デビュー作は、奇妙な味わいのサスペンス・スリラー。

突如ロサンジェルス一帯で停電が発生。銀行のオンラインはもちろんＴＶ・電話も完全に機能しない状態となった。郊外に暮らす平凡な夫婦マシュー（Ｋ・マクラクレン）とアニー（Ｅ・シュー）の元を訪れた友人ジョーはアニーの招きで彼らの家に滞在する事になった。強奪や殺人が起きつつある状況下で、マシューとジョーはショットガンを購入するが、銃嫌いのアニーはショットガンをプールに沈めてしまう。だがその夜、一人の若者が家の中に侵入し盗みを働いているのを発見。その若者は向かいの家の住人によって撃たれるが、息の根を止めたのはジョーのナイフだった。しかしやって来た警官に撃った本人とジョーは嘘の証言をし、マシューもやむなくそれに従う。停電はなかなか復旧せず、このままロスにいたのでは危ないと言うジョーの勧めもあって、マシューとアニーは幼い赤ん坊と共にＬＡ脱出を試みる。しかし道中、路肩に放置されてあった車の中から現れた一人の男ゲイリーによって状況は一変する。車に同乗させてくれと頼むゲイリーの懐に拳銃を発見したジョーが発砲、逆にゲイリーに撃たれた上、車を奪われてしまうのだ。先ほど車が乗りつけるのを見かけた一軒家に行き、助けを求めるしかないと判断したマシューは、アニーにショットガンを預け、血まみれのジョーと赤ん坊を車中に残し走り始める。だがようやくたどり着いたその家に住む黒人と口論になってしまい、怒りと焦燥にかられたマシューは、力ずくで車を奪おうとその家に入りこむのだが……。

現在のハイテク社会を突然襲う停電。その災厄によって人間の本性を次々と剥きだす隣人たち。話次第ではちょっとしたパニック映画になりかねない設定だが、Ｄ・コープは人と人とのディスコミュニケーションに焦点を絞っている。映画の冒頭（ショッピングモールを通って映画館に入るまでが、新人監督にありがちな頑張りようでかなり長いワンカットで処理されている）、次々と現れる登場人物たちは誰も彼も好きになれない人間ばかり、常に他人を敵視しているような人物だ。ここで既に人間関係の破綻が描かれているが、これに停電という特殊な状況を用意する事で、もっと深くディスコミュニケーションを描こうという事なのだろう。この辺のひねり具合は、大作のリライト専門のように思われがちなＤ・コープの初期作が実は「アパートメント・ゼロ」や「バッド・インフルエンス／悪影響」といった異常心理モノであった事を考えると容易に納得がいったりもするのだが……。しかし、映画としては個々のエピソードなどは悪くないにしても、まとまりに欠けるきらいがある。クライマックスは主人公が押し入った家で黒人（実はこの二人は冒頭の映画館で出会っている）と対峙するものだが、ここでの処理もいささか説得力に欠けるだろう。

【クレジット】

監督	デヴィッド・コープ	David Koepp
製作	マイケル・グリロ	Michael Grillo
製作総指揮	ローリー・マクドナルド	Laurie MacDonald
	ジェラルド・Ｒ・モーレン	Gerald R. Molen
	ウォルター・Ｆ・パークス	Walter F. Parkes
脚本	デヴィッド・コープ	David Koepp
撮影	ニュートン・トーマス・サイジェル	Newton Thomas Sigel

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

編集	ジル・セイヴィット	Jill Savitt	
音楽	ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard	
出演	カイル・マクラクラン	Kyle MacLachlan	マシュー
	エリザベス・シュー	Elisabeth Shue	アニー・ケイ
	ダーモット・マローニー	Dermot Mulroney	ジョー
	リチャード・Ｔ・ジョーンズ	Richard T. Jones	レイモンド
	ビル・スミトロヴィッチ	Bill Smitrovich	ステフ
	マイケル・ルーカー	Michael Rooker	ゲイリー
	トリ・クリスチャンセン	Tori Kristiansen	サラ
	ティラ・クリスチャンセン	Tyra Kristiansen	サラ
	リック・ワーシー	Rick Worthy	ジョニー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.